

全体	No.59
個別	015-01

平成25年度 [教育委員会事務局] 目標の成果

課名	総務課
----	-----

No.	項目	教育施設の充実・整備、有効活用を推進します。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>平成23年2月4日に示された対馬市立学校適正規模、適正配置等検討委員会の答申を受け、対馬市立小学校、中学校及び幼稚園の統廃合の中期計画及び長期計画を策定し、計画に基づき住民説明会等を実施し、学校及び地域住民の理解のもと学校統廃合を進めます。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合校 1校 ・統合園 1園 	
	2. 実績(成果)	
		<p>対馬市立学校及び幼稚園統合推進計画に基づき、保護者説明会及び地区住民説明会を実施し、対馬市立南陽小学校を対馬市立東小学校に統合することについて各地区と合意し、平成26年4月1日に統合しました。また、巖原幼稚園と久田幼稚園の統合について、関係地区の合意のもと巖原地区に新園舎を建設し、平成26年4月1日に統合しました。</p>
	3. 評価	○
		<p>対馬市立学校及び幼稚園統合推進計画に基づき、学校統廃合を進め、計画どおり関係地区の合意を得て、統廃合を実施いたしました。</p>
	4. 今後の展開	
		<p>対馬市立学校及び幼稚園統合計画をもとに保護者及び地区住民の理解を得ながら学校統廃合を推進します。併せて子どもたちが安全で安心に学校生活を送れるように施設の環境整備を進めていきます。</p>

全体	No.60
個別	015-02

平成25年度 [教育委員会事務局] 目標の成果

課名	学校教育課
----	-------

No.	項目	確かな学力・豊かな心を育む教育活動の推進
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>【一人一人を大切にした教育活動の推進】</p> <p>1 基礎学力の定着と学校図書館の充実</p> <p>2 特別支援教育の充実</p> <p>3 不登校児童生徒対策の充実・推進</p> <p>【指標】</p> <p>1 (1)学校訪問をのべ17校実施 (2)学校図書館支援員を小学校20校、中学校8校に配置 (3)中学校基礎学力向上研究推進事業の実施 (4)対馬市独自の研究指定校制度の実施(7校1園で研究) (5)つしまテレビ学習塾(5月～3月計40回:CATV)</p> <p>2 特別支援教育関係の研修会開催や連携体制づくり</p> <p>3 不登校対策に係る関係研修会の開催と連携体制づくり</p>	
	2. 実績(成果)	
	<p>1 (1)学校訪問を計画的に実施し、校長の学校経営力の向上と、教職員指導力の向上を図りました。</p> <p>(2)学校図書館支援員を配置することにより、多様な読書活動を企画・実施したり、図書館サービスの改善を図りました。</p> <p>(3)教科等指導法改善研修会を中学校理科・英語、小学校外国語活動で実施し、効果的な指導について研修ができたものと考えます。</p> <p>(4)8校(園)の幼稚園・小中学校に研究委託し、指導を行うとともに4校で研究発表会(中間2校・本発表2校)を行いました。</p> <p>(5)市内の小中学校教員等から16名を作成委員として3チーム編成で放送番組及びテキスト教材の一部修正を行い、テキストを前期・後期の冊子にまとめて配布しました。</p> <p>2 各種研修会を実施するとともに、関係機関との連携を図ることができました。</p> <p>3 担当者研修2回実施。スクールカウンセラーや相談員を年間通して派遣することができました。毎月実施している実態調査をもとに、各校での取組を強化し、不登校数の増加を防ぐことができました。</p>	
	3. 評価	○
	<p>に内容の充実も図ることができました。</p> <p>(1)確かな学力の定着に向けて、教職員の指導力の向上をはかるため、教科指導法改善研修会等の各種研修会を実施し、成果を上げることができました。</p> <p>(2)特別支援教育を充実させるため、各種研修会と連携した会議実施や関係機関との連携を図るとともに、介助員を有効に活用することができました。</p> <p>(3)目標にあげた各事業については着実に実施でき、不登校者数の増加を防ぐことができました。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>今後とも各種研修会や学校訪問、研究指定校事業などを計画的に実施し、児童生徒の確かな学力の定着を図るために努力します。また、25年度の学力調査の結果を分析し、新たに対策を考えます。特別支援教育の更なる充実のために虹の原特別支援学校高等部対馬分教室との連携を図ります。また、26年度も不登校児童・生徒の減少に向けて取り組みの強化を図ります。</p> <p>「教室に居る子どもたちに届く」教育行政の推進に努めて行きます。</p>	

全体	No.6 1
個別	015-03

平成25年度 [教育委員会事務局] 目標の成果

課 名	生涯学習課
-----	-------

No.	項 目	スポーツ合宿、スポーツ交流等誘致促進事業
	1. 組織目標	<p>【 内 容 】</p> <p>○国内外のトップレベルチームを誘致し、スポーツ教室・講演会等を通して、健康に対する意識の高揚、スポーツ人口の拡大、次代を担う子どもたちの心身の健全な育成と夢づくり等を目指します。また誘致団体の成績向上により、合宿地としての対馬市をPRします。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>○合宿誘致予定団体：実業団、韓国スポーツ団体等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘致団体数：2団体 ・合宿人数：1団体につき10人～15人 ・合宿期間：1週間～10日程度
	2. 実績(成果)	<p>○5月7日に合宿日程打合せを兼ね九電工へ会社訪問を行いました。陸上部監督が交代しており、監督間の引き継ぎ等が十分になされていなかったため、合宿スケジュールが組みこめませんでした。</p> <p>○1月～2月に韓国の大学野球チームが合宿を行う予定でしたが、直前に政治的理由からキャンセルとなりました。</p> <p>○その他、実業団や大学等と連絡をとりあったものの、補助金要綱変更に伴い補助対象とならなかったり調整がうまくいかず合宿の誘致に繋がりませんでした。</p>
	3. 評 価	×
		<p>○計画段階では合宿誘致を行い、スポーツ教室の開催やイベントの参加など本市におけるスポーツの振興に貢献する予定となっていました。各種団体ともに不測の事態が重なり実行することができませんでした。</p>
	4. 今後の展開	<p>○今後も、継続してスポーツ合宿誘致を推進するとともに、受け入れ態勢の強化、体育施設整備による合宿環境の向上を要望しながら、誘致団体の増加に繋げていきます。</p>

全体	No.6 2
個別	015-04

平成25年度 [教育委員会事務局] 目標の成果

課 名	生涯学習課
-----	-------

No.	項 目	芸術文化鑑賞の機会充実及び市民文化活動の支援
	1. 組 織 目 標	
		<p>【 内 容 】</p> <p>○美術鑑賞機会の少ない対馬市において、県展入賞作品及び対馬市在住者の入賞作品を移動展するとともに、児童や学生を対象に専門家によるワークショップ・実演などを行います。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>○長崎県美術展覧会公募展移動展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部門：日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・デザインの7部門 ・入館者目標：1,000人
	2. 実 績 (成 果)	
		<p>○ 作品出展数：97点 (日本画7点、洋画18点、彫刻6点、工芸8点、書17点、写真29点、デザイン12点)</p> <p>○ ワークショップ：(油絵教室) 厳原小学校5～6年生 25名</p> <p>○ 来場者数：1,269人</p>
	3. 評 価	<input checked="" type="radio"/>
		<p>作品については高度な素晴らしい作品を展示することができ、優秀な芸術作品の鑑賞機会の少ない本市において、市民の多くの方々に感動を与えられました。</p> <p>さらにワークショップでの油絵体験学習は、学校の授業では機会が少なく、子どもたちの発想を豊かにする貴重な体験となりました。</p>
	4. 今 後 の 展 開	
		<p>市内における文化活動団体とも連携を密にし市民美術展等における質の向上、新規出展者の発掘・拡大等に努めるとともに、一人でも多くの市民の皆様に文化芸術に関心を持っていただければと考えます。</p>

全体	No.6 3
個別	015-05

平成25年度 [教育委員会事務局] 目標の成果

課名	文化財課
----	------

No.	項目	指定文化財の保護・活用を図ります
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>①指定文化財の保存整備 ②文化財に係る防犯対策と情報発信 ③博物館及び郷土館・資料館の整備</p> <p>【指標】</p> <p>①史跡の保存整備（5カ所） ②文化財に係る防犯対策の強化と情報発信の実施（広報誌掲載12回、防犯装置設置5カ所） ③対馬歴史海道博物館（仮称）について具体的な計画の推進（関係機関協議12回、研修参加2回）</p>	
	2. 実績（成果）	
	<p>①ほぼ計画どおり、保存整備工事を実施しました。 ②市報に「わがまち再発見」記事を毎月掲載し、文化財に関する情報を発信しました。また、県指定、市指定文化財所蔵3箇所にセンサー、カメラ等防犯装置を設置しました。 ③博物館建設計画を進めるうえで必要な文化庁、長崎県、市関係課との協議（12回）を行いました。また、職員のスキルアップに必要な研修に参加（2回）しました。</p>	
	3. 評価	○
	<p>①各史跡の保存整備計画に従い、ほぼ計画どおり事業を実施出来ました。 ②文化財に対する情報発信を継続することで市民の意識を高めることが出来た他、文化財・景観写真コンテストの実施と合わせ、一層文化財に対する普及啓発が図られました。また、文化財所有者に防犯対策の重要性を理解していただき、補助金を活用して3カ所に盗難防止設備を設置することが出来、防犯上も非常に有効であると考えます。 ③博物館建設計画についての各機関との協議により、一定の前進はあったものの、</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>①史跡整備については、今後も保存整備計画に従い整備を続け、有効活用につなげていきます。 ②文化財の普及活動・情報発信については、市報で引き続き関係する記事を掲載していくことに併わせ、昨年度から開催している写真コンテストやその他様々な機会を通じて、情報発信、文化財保護に対する啓発を図っていきます。</p>	